

令和4年度
事業報告書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

社会福祉法人信達福社会

事業報告書 目次

| | | |
|------------|-------------------------|----|
| I | 経営改善の重点 …………… | 1 |
| II | 事業計画実施状況 …………… | 1 |
| 1 | 法人全体…………… | 1 |
| | (1) 尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上 | |
| | (2) 職員が育つ組織づくり | |
| | (3) 持続可能で未来志向の経営管理 | |
| | (4) 新型コロナウイルス感染症の状況 | |
| 2 | 法人本部…………… | 3 |
| | (1) 法人運営 | |
| | (2) 事務の合理化と財務運営の適正化 | |
| | (3) 人材の確保と育成、働きやすい職場づくり | |
| | (4) 職員状況 | |
| 3 | あつかし荘…………… | 6 |
| | (1) 特別養護老人ホームあつかし荘 | |
| | (2) ショートステイ | |
| 4 | 梁川ホーム…………… | 9 |
| | (1) 特別養護老人ホーム梁川ホーム | |
| | (2) ショートステイ | |
| | (3) デイサービスセンター | |
| | (4) ケアハウス広瀬 | |
| | (5) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所 | |
| | (6) 伊達市梁川地域包括支援センター | |
| 5 | 川俣ホーム…………… | 14 |
| | (1) 特別養護老人ホーム川俣ホーム | |
| | (2) ショートステイ | |
| | (3) デイサービスセンター | |
| III | 事業報告附属明細書 …………… | 18 |
| | 市町村別・月別利用状況…………… | 18 |
| | (1) あつかし荘 | |
| | (2) 梁川ホーム | |
| | (3) 川俣ホーム | |

令和4年度は、「安全・安心・ゆとり」の法人運営理念のもと「尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上」「職員が育つ組織づくり」「持続可能で未来志向の経営管理」に取り組んだ。さらに、多様な人材の確保に加え、介護ロボット・ICTの活用による業務の効率化を行った。

I 経営改善の重点

各施設の担当者会議において業務の共通化を図るとともに、業務負担を軽くし効率的に行うための情報共有を行い、介護現場における記録様式の統一や手順書の作成など課題解決に向けて意見交換を行い、改善実行に移している。介護ロボット・ICTの導入については将来の介護人材不足に対応するためのもので多機能ベッド、見守り支援システムのほか、勤務表作成ソフト導入などを行った。さらに本部と施設の若手職員6名にて導入プロジェクトを発足させ、仙台での福祉機器展示会の参加や他事業所の成功事例から学ぶ機会を設け、今後の取り組みについての検討を行っている。また、電気料金の値上げに加え、原材料価格の高騰等により、介護用品や消耗品の価格も高騰したが、サービス提供に支障のない範囲での節電対策及び節約に努めた。

II 事業計画実施状況

1 法人全体

(1) 尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上

利用者が個人の尊厳を保持し安心してサービスを利用できるよう、虐待防止に関する指針を整備するとともに、虐待の未然防止、早期発見・早期対応のための自己チェックリストを含むハンドブックを職員全員に配布した。併せて、前年度に職員の言動に対する苦情受付があったことも踏まえ、主任以上を対象に接遇研修を実施するとともに、全体研修会やその他会議などの際にも職員に対して適切な言葉遣いや態度に関する注意喚起を継続的に行った。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|----------------------------------|---|--|
| 虐待防止・身体拘束適正化研修関係参加回数 | 8回 | 11回 |
| 苦情受付件数 | あつかし荘 4件 梁川ホーム 1件 川俣ホーム 1件 | あつかし荘 1件 梁川ホーム 3件 川俣ホーム 1件 |
| 挨拶や言葉遣いに対する利用者・家族満足度 満足度/回答件数 | あつかし荘 97.8%/46件 梁川ホーム 98.4%/63件 川俣ホーム 99.0%/49件 | あつかし荘 100%/45件 梁川ホーム 99%/57件 川俣ホーム 98%/53件 |

(2) 職員が育つ組織づくり

採用計画に基づき、高校及び専門学校への訪問や法人独自の職場見学会・各種就職説明会への参加を行い人材確保に努め5名を採用した。育成面においては、オンラインを活用した研修参加の継続に加え、課題解決スキルの向上などを目的に、課長・副課長を対象としたリーダー研修や、管理者及び事務担当者

を対象とした経営研修など外部講師を招く研修会も実施した。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|--------------------------|---------|---------|
| 就職説明会等開催回数 (WEB説明会含む) | 5回 | 9回 |
| 職場見学者数 (うち採用者数) | 10名(6名) | 11名(5名) |
| 雇用人数 高年齢者/障害者 | 1名/2名 | 6名/0名 |

▼法人職員研修

| 日程 | 研修名(内容) | 出席人数 |
|------------|-------------|------|
| 令和4年 4月19日 | 課長研修(就任時) | 3名 |
| 5月10日 | 係長研修(職位別) | 18名 |
| 5月19日 | 事務担当者研修 | 9名 |
| 5月30日 | 接遇研修 | 45名 |
| 6月15日 | 係長研修(就任時) | 2名 |
| 6月21日 | 主任研修(就任時) | 1名 |
| 7月12日 | 副主任研修(就任時) | 3名 |
| 10月12日 | 経営研修 | 17名 |
| 9月~令和5年2月 | リーダー研修(全6回) | 9名 |
| 令和5年 1月25日 | 主任研修(職位別) | 18名 |

▼働きやすい職場づくり

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-----------------------|---------|------------|
| 子の看護休暇取得者数 | 7名 | 7名 |
| 介護休暇取得者数 | 3名 | 0名 |
| 有給休暇平均取得日数 | 10.3日 | 9.7日 |
| 病気休暇取得者数(うち コロナ感染) | 17名 | 80名(うち68名) |
| 時間外勤務数 | 8,817時間 | 6,436時間 |

(3) 持続可能で未来志向の経営管理

利用者が過ごしやすい環境の整備と利用中の安全の確保及び職員の業務効率化などを目的として、補助金や助成金を活用しICT機器及び介護ロボットの導入や簡易個室化工事の実施を行った。

週休3日制度導入事業については、令和5年1月に梁川ホーム、3月に川俣ホームにおいてそれぞれ試行を行った。試行結果から、夜勤時間の短縮による疲労感の軽減や日勤帯の10時間勤務に対する体力面の不安など明らかとなった成果や課題、職員の意見・感想をもとに今後も制度導入の検討を継続することとした。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|----------------|------------------------------|----------------------------|
| ICT・介護ロボット導入機器 | 介護記録用タブレット7台 センサー内蔵ベッド48台 | 介護記録用タブレット34台 見守り支援システム |
| 補助金、助成金活用件数 | 15件 | 16件 |

(4) 新型コロナウイルス感染症の状況

10月から12月にかけて各施設においてクラスター(5名以上の感染)が発生し一部サービスの休止を余儀なくされたが、その際の経験や教訓、主治医・保健所からの指導などを参考にして衛生管理の徹底と利用者へのケア方法を見

直しし、1月以降は感染が減少した。面会については、オンライン面会を継続しながら、一方でシート越しや陰圧ブースを活用して家族と直接対面できる面会を再開した。

| 項目 | あつかし荘 | 梁川ホーム | 川俣ホーム | ケアハウス |
|---------------|-------|--------------------|-------|-------|
| 感染者数（入居利用者） | 3名 | 29名 | 18名 | 14名 |
| 感染者数（職員・委託職員） | 14名 | 34名 | 21名 | 8名 |
| 営業休止日数（短期入所） | 21日間 | 21日間 | 19日間 | |
| 営業休止日数（通所介護） | | I型 11日間 II型 9日間 | 0日間 | |

2 法人本部

(1) 法人運営

6月2日、第1回理事会にて令和3年度事業報告及び決算報告を行った。また、9月13日の第2回理事会における給与規程、臨時雇用職員管理規程の一部改正等について及び10月19日の第3回理事会のパソコン購入契約の締結については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け書面決議とし、全議案可決承認された。

▼理事会

| 回 | 日程 | 議案、評議員・理事・監事出席状況 |
|---|------------------|---|
| 1 | 令和4年 6月2日 | 令和3年度事業報告、令和3年度決算報告、あつかし荘、川俣ホームの補正予算、理事・監事の選任、理事・監事の報酬等、定時評議員会の招集等 理事 出席8名／欠席なし 監事 出席2名／欠席なし |
| 2 | 9月13日 (書面決議) | 給与規程の一部改正、臨時雇用職員管理規程の一部改正、梁川ホーム拠点区分移行時特別積立金及び移行時特別積立資産の取り崩し、あつかし荘拠点区分修繕費積立金及び修繕費積立資産の目的外取り崩し、梁川ホーム拠点区分修繕費積立金及び修繕費積立資産の目的外取り崩し、ケアハウス広瀬拠点区分修繕費積立金及び修繕費積立資産の目的外取り崩し、川俣ホーム拠点区分修繕費積立金及び修繕費積立資産の目的外取り崩し、本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包括支援センター、川俣ホームの各補正予算、梁川ホームショート専用棟多床室の簡易個室化工事に関する業務委託、評議員会の招集等 |
| 3 | 10月19日 (書面決議) | 社会福祉法人信達福祉会パソコン購入契約の締結について |
| 4 | 12月6日 | 特別養護老人ホームあつかし荘運営規程等の一部改正、梁川ホーム拠点区分移行時特別積立金及び移行時特別積立資産の取り崩し、あつかし荘備品等購入積立金及び備品等購入積立資産の目的外取り崩し、梁川ホーム拠点区分修繕費積立金及び修繕費積立資産の目的外取り崩し、川俣ホーム助成金の受領、川俣ホーム福祉車両の受領、本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算、梁川ホーム多床室の簡易個室化工事契約、評議員会の招集等 理事 出席8名／欠席なし 監事 出席2名／欠席なし |

| | | |
|---|---------------|--|
| 5 | 令和5年 3月10日 | 就業規程の一部改正、給与規程の一部改正、臨時雇用職員管理規程の一部改正、補正予算、令和5年度事業計画、あつかし荘拠点区分修繕費積立金及び修繕費積立資産の目的外取り崩し、梁川ホーム拠点区分修繕費積立金及び修繕費積立資産の目的外取り崩し、川俣ホーム拠点区分修繕費積立金及び修繕費積立資産の目的外取り崩し、令和5年度当初予算、苦情解決委員会第三者委員の選任について、役員賠償責任保険の締結、評議員会の招集 等 理事 出席8名/欠席なし 監事 出席2名/欠席なし |
|---|---------------|--|

※第1、4回は伊達市梁川中央交流館1階大研修室

第5回は梁川ホーム家族介護者教育室

▼評議員会

| 回 | 日程 | 議案、評議員・理事・監事出席状況 |
|---|---------------------------|--|
| 1 | 令和4年 6月17日 〔定時評議員会〕 | 令和3年度事業報告、令和3年度決算報告、あつかし荘、川俣ホームの補正予算、理事・監事の報酬等 等 評議員 出席8名/欠席2名 監事 出席2名/欠席なし 出席理事 2名 |
| 2 | 9月21日 (書面決議) | 給与規程の一部改正、本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算 等 |
| 3 | 12月15日 | 運営規程の一部改正、本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算 等 評議員 出席9名/欠席1名 出席理事 2名 |
| 4 | 令和5年 3月22日 | 就業規程の一部改正、給与規程の一部改正、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算、令和5年度事業計画、当初予算 等 評議員 出席6名/欠席4名 出席理事 2名 |

※第1、3回は伊達市梁川中央交流館1階大研修室

第4回は梁川ホーム家族介護者教育室

▼監事会

| 回 | 日程 | 監査項目、理事・監事出席状況 |
|---|---------------|---|
| 1 | 令和4年 5月17日 | 本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包括支援センター、川俣ホームの事業報告及び決算計算書類案の監査 監事 出席2名/欠席なし 出席理事 2名 |

※梁川ホーム家族介護者教室

▼外部会議・研修セミナーへの出席

| 日程 | 研修名 | 出席者 |
|-------------------------|---------------------|-----|
| 令和4年 7月14日 (オンライン研修) | 令和4年度福島県経営協セミナー(前期) | 理事長 |
| 令和5年 2月13日 | 令和4年度福島県経営協セミナー(後期) | 理事長 |

(2) 事務の合理化と財務運営の適正化

事務手続き各様式の統一を図り事務処理の合理化、迅速化を行うとともに、PCファイルサーバー内の電子掲示板を活用した月次報告分析等の情報共有を進めたことにより、情報へのアクセスがしやすくなり担当者がいつでも情報を

閲覧、更新できるようにするなど事務作業の効率化に取り組んだ。また、パソコンを持参して資料すべてをペーパーレスとする会議の開催方法を取り入れ、さらに会議の要点をその場でまとめることでより効率的な会議を行うことができた。事業費においては、新型コロナウイルス感染症に伴うマスクや消毒液等の購入と燃料費高騰による影響が大きく前年度対比+7%となったが、その他の支出においては予算の執行状況を購入担当職員も総務係と一緒に管理することで経費削減の意識を高めることができた。

将来見込まれる修繕・改修工事内容や時期、概算費用などを明確にし、施設整備更新計画作成の根拠とするために法人全体の施設長期修繕計画作成を依頼した。また、福島県地域医療介護総合確保基金事業を活用しあつかし荘に無線式のコールシステムを含む見守り支援システムを整備した。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|--------------------------------------|---------|---|
| 施設整備更新計画の進行管理 | 施設で実施 | 長期修繕計画作成依頼 見守り支援システム導入 |
| 事務の標準化、迅速化、ペーパーレス化 | — | 事務手続き様式統一 会議資料のペーパーレス化の推進 |
| 備品、在庫管理による業務の円滑化と一括契約の拡大による経費節減(-5%) | — | 自動車共済フリート契約共済掛金 削減率22% パソコン購入契約 削減率25% |
| 月次報告分析と情報共有 | — | 電子掲示板の活用 |

(3) 人材の確保と育成、働きやすい職場づくり

会議の統合や、資料の事前配布などによる会議時間の短縮、オンラインを活用した研修会参加などに取り組み、時間外手当の削減とともに働きやすい職場づくりに努めた。

厚生労働省の委託事業でもある福島広域雇用促進支援協議会を活用した就職面接会の開催や、法人独自の職場見学会、ハローワークを活用した高齢者雇用など様々な手段を用いて人材の確保に努めた。さらに、障害のある求職者を対象とした就職説明会への参加やハローワークと連携して実施する障害者の業務委託訓練の受託など、多様な人材の確保にも積極的に取り組んだ。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-----------------------|--------------|--------------|
| 業務改善による時間外勤務の削減(-30%) | 法人全体月平均749時間 | 法人全体月平均548時間 |
| ホームページ平均アクセス数(+50%) | 570件/月 | 715件/月 |
| 職員提案制度(月5件) | 12件 | 9件 |

(4) 職員状況

▼法人全体

| 項目 | 令和3年度 | 令和4年度 | 前年度対比 |
|---------------|-------|-------|-------|
| 職員数※各年度4月1日現在 | 231名 | 223名 | -8名 |

| | | | |
|---------------------|-----|-----|-----|
| 退職者数（定年退職含む）※各年度末現在 | 18名 | 16名 | -2名 |
| 採用者数（中途含む）※各年度末現在 | 21名 | 15名 | -6名 |

▼施設別

| 項目 | 本部 | あつかし荘 | 梁川ホーム | 川俣ホーム | 計 |
|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 職員数 | 6名 | 48名 | 110名 | 59名 | 223名 |
| 平均年齢 | 47.0歳 | 50.7歳 | 48.6歳 | 49.6歳 | 49.3歳 |
| 男女比率 | 男性66% 女性34% | 男性27% 女性73% | 男性26% 女性74% | 男性44% 女性56% | 男性32% 女性68% |
| 管理職のうち女性職員割合 | 50% | 100% | 20% | 40% | 42% |

※令和5年3月31日現在

3 あつかし荘

(1) 特別養護老人ホーム

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|---------|--------------------|--------------------|-------|
| 稼働率 | 99.0% | 98.1% | -0.9% |
| 延べ利用者数 | 22,398人 | 22,203人 | -195人 |
| 平均要介護度 | 4.02 | 4.11 | +0.09 |
| 平均年齢 | 88.2歳 | 87.4歳 | -0.8歳 |
| 平均空床期間 | 13.6日 | 12.8日 | -0.8日 |
| 入居者男女比率 | 男性22.6% 女性77.4% | 男性22.6% 女性77.4% | ±0 |

① 介護

ケアカンファレンスを昨年度よりも多く開催し、個別ケアの充実を図った。認知症介護のスキルアップとして外部研修への計画的派遣と内部研修を開催したほか、マニュアル学習を継続した。レクリエーション開催は新型コロナ発生の影響もあり開催できない時期もあったが前年度よりも多く実施し、利用者の活動の機会を増やすことができた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|---|---|--|
| LIFEを活用した支援計画の見直し（栄養・排泄・褥瘡ケアカンファレンスの開催） | 5回 | 12回 |
| 認知症介護の知識習得 | マニュアル学習毎月1回 県認知症介護研修受講 （基礎研修2名、実践者研修1名） | マニュアル学習毎月1回 県認知症介護研修受講 （基礎研修2名、リーダー研修1名） |
| 集団レクリエーションの実施（週3回） | 1回/週 | 1.85回/週 |

※LIFE…介護データ収集・分析システム

② 看護

感染症発生時におけるBCP（事業継続計画）を策定し個人防護具の着脱や手洗いの研修・訓練を行い、職員一人ひとりが対策徹底することで新型コロナウイルス発生時には2次感染を防ぎ蔓延を防止することができた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 看取り介護における利用者・家族の意向の把握 | 2段階の確認（①入所時、②看取り介護開始時） | ACP（人生会議）の導入に向けた制度づくり及び全体研修会での周知 |
| 感染症予防対策の実施（利用者の発症者数0名） | 18名（感染性胃腸炎） | 3名（新型コロナウイルス） |
| 感染症研修及び感染症BCP訓練 | 研修2回・訓練1回 | 研修2回・訓練3回 |

③ 栄養管理

献立や調理方法をより利用者が好むものになるよう見直したほか、嚥下困難な利用者のためのチルミル食の導入などを行ったことで喫食率が上がり、低栄養リスク者割合が前年度よりも改善された。非常時の食事については炊き出し訓練のほか、委託業者も交えた会議にて栄養に関するマニュアルを確認し災害時の想定訓練を行った。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|------------------|--------------------|----------------------|
| 残菜量（1日平均4kg以下） | 6kg | 8.8kg |
| 低栄養リスク者割合（10%以下） | 15% | 8% |
| 非常時の備蓄品の管理 | 食料備蓄5日分 炊出し訓練1回 | 炊出し訓練1回 感染症想定机上訓練 |

④ 生活相談

冬期間に退所が続いたものの、退所から入所までの空床期間は昨年度よりも短縮することができた。しかし入院が多く結果として稼働率は昨年を下回った。研修に関しては外部研修・内部研修のほか、桑折町ネットワーク会議へも積極的に出席してスキルの向上に努めた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-----------------------|-------------------------|---|
| 入所までの空床期間（在宅5日、施設10日） | 13.6日 | 12.2日（在宅：9日、施設：13.8日） |
| 相談援助・苦情対応スキルの向上 | 外部研修派遣（相談援助面接1名、苦情受付1名） | 外部研修派遣（相談援助面接1名、ケアマネ研修1名、桑折町地域ネットワーク会議4回）係内研修（9回） |

⑤ 総務管理

既存棟に見守り支援システムを導入したことにより、コール時の居室状況を職員が端末で確認し、効率的に動くことができるようになった。また、利用者の安全対策にも活用できるようになった。災害時のBCP（事業継続計画）策定を進めて炊き出し訓練と避難誘導訓練を行った。働き方の改善の一つとして全職員が5日以上の連休を取得し、ワークライフバランスの向上に努めた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|---------------|--------------|---|
| ICT化による生産性向上 | 介護記録用タブレット導入 | Wi-Fi環境の充実化 介護記録用タブレット追加 ナースコールを見守り支援システムへ入替え |
| 職員の働き方改善 | 年休取得5日以上 | 連続休暇（5日以上）取得率100% |
| 災害時BCPの策定及び訓練 | — | 災害時BCP策定（60%） 訓練2回 |

(2) ショートステイ

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|---------------|---------|---------|-------|
| 稼働率 | 73.7% | 75.6% | +1.9% |
| 一日平均利用者数 | 7.4人 | 7.6人 | +0.2人 |
| 平均要介護度 | 3.44 | 2.93 | -0.51 |
| 一人あたり平均利用日数/月 | 10.1日 | 10.8日 | +0.7日 |
| 新規利用者数 | 24人 | 26人 | +2人 |

ケアマネジャーに対しての空床情報を月2～3回更新したほか、定期的に担当利用者の様子を写真等でお知らせするなど情報提供に努め、利用状況に応じた必要なケアの調整を行った。その結果相談件数が増え、利用実人数は少なかったものの一人あたりの利用日数は増えた。また、新規獲得においては、特養入所や死亡などによる利用廃止が年間12人に対して新規利用者が26人と上回る事ができた。

ショートステイ利用者に対するレクリエーション・アクティビティは道具を使ったゲームや体操などの動的レクリエーション、はり絵や音楽動画鑑賞などの静的レクリエーションとバリエーション多く実施し回数を増やすことができた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-----------------------------------|----------|----------|
| 利用実人数（25人） | 月平均22.1人 | 月平均21.3人 |
| レクリエーション・アクティビティの実施（週3回） | 1回/週 | 3.3回/週 |
| ケアマネへの空床情報・サービス内容についての情報配付（月2～3回） | 1～2回/月 | 2～3回/月 |

4 梁川ホーム

(1) 特別養護老人ホーム

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|---------|----------------|----------------|----------------|
| 稼働率 | 98.4% | 96.9% | -1.5% |
| 延べ利用者数 | 28,721人 | 28,305人 | -416人 |
| 平均要介護度 | 4.20 | 4.01 | -0.19 |
| 平均年齢 | 88.8歳 | 89.7歳 | +0.9歳 |
| 平均空床期間 | 10.0日 | 15.0日 | +5.0日 |
| 入居者男女比率 | 男性18% 女性82% | 男性16% 女性84% | 男性-2% 女性+2% |

① 介護

フロア毎に季節の行事や花植え、リズム体操などのレクリエーションを実施した。また、個人や少人数での外出も再開した。職員研修はオンラインで複数名参加し、スキルアップを図った。策定した感染症BCP（事業継続計画）に基づき、防護具の着脱などの研修を行い、感染予防に対する意識を高め、新型コロナウイルス感染症発生時に拡大を防ぐことができた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-----------------|---------|----------|
| 特養内の事故件数（10%減） | 66件 | 52件 |
| 集団レクリエーション（月3回） | 隔月 | 平均2.5回/月 |
| 職員の研修参加（30回） | 25回 | 21回 |

② 看護

誤嚥性肺炎は、胃瘻の利用者の状態低下に伴い1名の発症があったが、口から摂取をする方の発症は、食事形態の見直しや良い姿勢の保持などで防ぐことができた。8月と11～12月に新型コロナウイルス感染症が発生したが、主治医や保健所の助言・指導を受けるとともに、随時感染対策の見直しを図り拡大を防ぐことができた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|---------------|---------|--------------|
| 誤嚥性肺炎の発症者（0名） | 2名 | 1名 |
| 利用者の感染症発症（0名） | 0名 | 29名（新型コロナ感染） |
| 感染症研修（3回） | 2回 | 4回 |

③ 栄養管理

毎月2～3回、季節を感じられる食材を取り入れた行事食を行った。経口維持計画は、感染対策により食事の観察ができない期間もあったが、認知機能や摂食・嚥下機能が低下した方でも口から食べることを継続できるよう、多職種で検討した。また、施設、業者それぞれの感染症等の発生時の対応について打ち合わせを行い、炊き出し訓練を実施し、新型コロナウイルス感染症発生時も食事の提供を継続することができた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|----------------|----------------|----------------|
| 行事食実施回数（月平均3回） | 月平均2回 | 月平均2.8回 |
| 経口維持計画の対象（75%） | 利用者の70% | 利用者の53% |
| 感染症及び災害対応 | 備蓄品3日分、炊出し訓練1回 | 備蓄品3日分、炊出し訓練1回 |

④ 生活相談

入所者の入院の増加や新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、稼働率が低下し、退所から入所までの空床期間は前年度より5日延びた。面会については、感染状況に応じて、対面、オンライン、電話など柔軟な方法で行い、主に陰圧ブースを使用して201回の対面面会を実施した。研修は外部研修に参加した職員が伝達研修を行い、相談員のスキルアップを図った。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-----------------|----------|----------|
| 入所までの空床期間（8日） | 10日 | 15日 |
| 相談援助・苦情対応スキルの向上 | 外部研修参加1回 | 外部研修参加3回 |

⑤ 機能訓練

利用者の身体状態を把握し、状態に合わせたリハビリを行い、身体機能の維持・向上を図った。集団リハビリは令和3年度は感染対策で1回の実施だったが、4年度はフロア毎に少人数で行うなど工夫し、65回実施することができた。褥瘡や転倒等による骨折が発生したが、多職種で対応方法を話し合い、環境の改善や状態に合わせた福祉用具を使用するなどして回復に努めた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|----------------|---------|---------|
| 集団リハビリ回数（36回） | 1回 | 65回 |
| 褥瘡の発生件数（0件） | 2件 | 4件 |
| 転倒等による骨折件数（0件） | 3件 | 2件 |

⑥ 総務管理

感染症に伴う新規入所の制限や営業休止による減収、医薬品費や消耗器具備品費の増加、電気料高騰に伴う水道光熱費の増加等により、事業活動収入に対する支出の割合は97.5%となり厳しい結果となった。時間外勤務は会議の見直しなど業務の効率化を図り、前年度比18.3%削減となった。また、ペーパーレスや手書き業務の削減など業務の効率化と職員の負担軽減を図るため、パソコンやタブレット等ICT機器の整備を行うとともに、補助金を活用し多床室の簡易個室化工事を行い、ショートステイ利用者の環境改善を図った。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-------------------|--|--|
| 事業活動収支比率 (93%) | 95.9% | 97.5% |
| 時間外勤務の削減(△20%) | 前年度比△6.2% | 前年度比△18.3% |
| 施設設備の整備 | エアコン、プリンター更新、電動ベッド、温水便座入替え、電解次亜水生成装置、移動式面会用陰圧ブース | 液晶テレビ(75インチ2台、65インチ2台)、エアコン、パソコン、タブレット、多床室の簡易個室化工事 |

(2) ショートステイ

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|---------------|---------|---------|--------|
| 稼働率 | 55.5% | 66.7% | +11.2% |
| 一日平均利用者数 | 11.1人 | 13.3人 | +2.2人 |
| 平均要介護度 | 2.8 | 2.7 | -0.1 |
| 一人あたり平均利用日数/月 | 7.9日 | 8.4日 | +0.5日 |
| 新規利用者数 | 38人 | 64人 | +26人 |

ケアマネジャーより利用申し込みから利用開始までの期間が長いという意見があり、できる限り利用者・家族の要望に沿って速やかに面接や受け入れを行った。新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生で新規受け入れ中止の期間もあったが、フロアのショート専用化による感染拡大防止の効果もあり、稼働率改善や新規利用者増につなげることができた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-----------------------|---------|----------------|
| 利用実人数(平均43人) | 月平均40人 | 月平均48人 |
| 空き状況、サービス内容の情報発信(月2回) | 月1回 | 月1回 |
| ショート専用棟の設置 | 特養と併用 | ほほえみ通りをショート専用化 |

(3) デイサービスセンター

【Ⅰ型（一般型）】

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|--------|---------|---------|-------|
| 稼働率 | 82.6% | 76.4% | -6.2% |
| 延べ利用者数 | 6,383人 | 5,932人 | -451人 |
| 平均要介護度 | 2.1 | 2.3 | +0.2 |
| 新規利用者数 | 25人 | 38人 | +13人 |

【Ⅱ型（認知症対応型）】

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|--------|---------|---------|-------|
| 稼働率 | 61.1% | 55% | -6.1% |
| 延べ利用者数 | 2,267人 | 2,042人 | -225人 |
| 平均要介護度 | 2.6 | 2.4 | -0.2 |
| 新規利用者数 | 14人 | 15人 | +1人 |

新規利用の申し込み数に比べ、入院等により中止となる利用者数が上回った。また、新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えや営業中止もあり、稼働率はⅠ型、Ⅱ型とも低下した。口腔ケアのサービスは利用者の95%に実施することができた。なお、利用中の様子を家族や他の事業所に伝える取り組みを継続して行い、利用者の満足度調査で良い評価をいただいた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|------------------------|--------------------|----------------------|
| 利用実人数 (Ⅰ型93人・Ⅱ型28人) | Ⅰ型90人/月 Ⅱ型25人/月 | Ⅰ型83.9人/月 Ⅱ型23人/月 |
| 口腔ケアの実施(95%) | 90% | 95% |
| サービス内容や空き状況等の情報発信(月2回) | 月1回 | 月2回 |

(4) ケアハウス広瀬

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|------------------|----------------|----------------|-------|
| 稼働率 | 86.9% | 87.4% | +0.5% |
| 月初日平均入居者数(定員30人) | 26.3人 | 26.2人 | -0.1人 |
| 平均要介護度 | 1.7 | 1.9 | +0.2 |
| 入院者数 | 4人 | 2人 | -2人 |
| 平均年齢 | 88.2歳 | 89.2歳 | +1歳 |
| 入居者男女比率 | 男性22% 女性78% | 男性22% 女性78% | ±0% |

10月に利用者11人、職員7人の新型コロナウイルス感染症によるクラスターの発生があったが、保健所の指導もあり重症化を防ぐことができた。また、外部の行事は中止となったが毎月施設内での行事や、大画面テレビを使用して毎日の健康体操を行い、生活の中に楽しみを持って過ごしていただけるよう取り組んだ。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|---------------|---------|---------|
| サロンの定期開催(週4回) | 週3回 | 週6回 |
| 稼働率の確保 | 86.8% | 87.4% |

(5) 梁川ホーム居宅介護支援事業所

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|--------------|---------|---------|-------|
| 居宅サービス相談件数 | 1,794件 | 1,809件 | +15件 |
| 居宅サービス計画作成件数 | 1,703件 | 1,627件 | -76件 |
| 要介護認定調査件数 | 21件 | 46件 | +25件 |

利用者の心身状況や環境に応じて介護保険サービスを利用できるよう、医療機関、他事業所との連携を図り支援を行った。相談件数は増加したが、入院や施設利用を希望し、サービス利用には至らないケースも多く、計画書作成件数は減少した。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-------------|---------------------|---------------------|
| 担当件数(平均35件) | 平均28件/人 | 平均27.1件/人 |
| 地域活動への協力 | (新型コロナウイルス感染症拡大で中止) | (新型コロナウイルス感染症拡大で中止) |

(6) 伊達市梁川地域包括支援センター

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|--------------|---------|---------|-------|
| 相談延べ件数 | 3,961件 | 4,080件 | +119件 |
| 訪問件数 | 644件 | 709件 | +65件 |
| 介護予防サービス作成件数 | 2,372件 | 2,258件 | -114件 |
| 地域講座開催件数 | 3件 | 3件 | ±0件 |

総合相談窓口として、依頼者からの相談内容や状況に応じて医療機関や行政とも連携を図り、スムーズに必要なサービスが受けられるよう努めた。新型コロナウイルス感染症拡大により業務が制限された時期があったが、訪問件数は増えた。なお、1件当たりの対応に長い時間が必要となる困難事例が増加している。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|--------------------|----------------------|------------------|
| 相談実績(195件) | 198件/月 | 188件/月 |
| 認知症カフェ開催(3回) | 1回/年 | 1回/年 |
| 介護保険や認知症の理解促進、普及活動 | 出前講座、認知症サポーター養成講座の開催 | 普及啓発2件 出前講座2件 |

5 川俣ホーム

(1) 特別養護老人ホーム

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|---------|----------------------|----------------------|--------------------|
| 稼働率 | 97.9% | 96.9% | -1.0% |
| 延べ利用者数 | 23,574人 | 23,350人 | -224人 |
| 平均要介護度 | 3.96 | 4.06 | +0.1 |
| 平均年齢 | 88.4歳 | 89.6歳 | +1.2歳 |
| 平均空床期間 | 9日 | 9.7日 | +0.7日 |
| 入居者男女比率 | 男性 12.1% 女性 87.9% | 男性 12.4% 女性 87.6% | 男性+0.3% 女性-0.3% |

① 介護

特養居住グループをこれまでの2つから3つに分けたことで、担当介護士の移動範囲が狭くなるとともに、利用者と直接関わる時間が増え、より細かな生活支援につなげることができた。11月に新型コロナウイルスで利用者複数名が感染し施設内療養となり、また職員感染もみられたが感染症BCP（事業継続計画）に基づき職員出勤を調整確保し、利用者の生活に支障のないサービス提供を確保することができた。週休3日制の試行では、利用者が不安な気持ちになる夕方の時間帯に職員と一緒に過ごす時間を設けることができ、また会議の勤務時間内開催による時間外労働の削減、夜勤時間の短縮により、職員の負担軽減効果がみられた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|------------------------|---------|---------|
| 利用者グループ細分化 (支援の多様化) | 2グループ | 3グループ |
| 季節ごと行事数(1回/月) | 不定期 | 1回/月 |
| 選択制レクリエーション (1回/日) | 不定期 | 1回/日 |

② 看護

誤嚥性肺炎による入院者は5名いたものの、歯科医の協力のもと利用者の口腔衛生をより丁寧に時間をかけて行うようにした結果、年度後半の入院数は1名となった。またクラスター発生時には利用者の健康状態の把握に努め、感染症対策委員会の随時開催及び基本対応と衛生管理の徹底を事業所内に周知するとともに、主治医および保健所と連携を図り更なる拡大防止に努めた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|--------------------------|---------|----------------|
| 誤嚥性肺炎による入院者 | 0名 | 5名 |
| 感染症予防対策の実施 (利用者の発症者数) | 0名 | 18名(新型コロナウイルス) |
| 感染症BCP訓練 | 2回/年 | 1回/年 |

③ 栄養管理

経口維持計画作成は、46名の目標まで至らなかったが、ミールラウンドを通して、最期まで口から食べられるような支援を多職種で検討・継続できた。ライブキッチンや調理レクリエーションは継続し、今年度は季節メニューの提供時には「栄養教室」として旬の食材について説明する時間を設けた。新型コロナウイルス感染症発症により、食事回数を一日2食とする期間もあったが、栄養補給として高カロリーの補助食品・経口補水液を提供し、低栄養状態や体重減少の防止に努めた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|---------------------------|---------|-----------|
| 経口維持計画作成 (70% 46名/66名) | 56% | 51% (34人) |
| ライブキッチン開催 | 4回/月 | 4回/月 |
| 季節メニューの提供 | 1回/週 | 2回/週 |

④ 生活相談

利用者の入院延べ日数が前年度より237日増え、死亡による退所者も多く稼働率が低下した。そのなかにおいてスムーズな入所手続きを図るため、待機者の状態確認および関係機関との情報共有・連絡調整を進め、空床期間の短縮に努めた。また、毎週木曜の相談日以外でも利用者との関わりを大切にし、利用者からの小さな困りごとなどにも早期に対応することができた。家族との面会では、周囲の感染状況をみながら対面での面会を継続したほか、家族へ利用者の様子をこまめにお知らせするなど、家族の安心感につなげることができた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|------------------------|---------|---------|
| 入所までの空床期間 (平均10日以内) | 平均9日 | 平均9.7日 |
| 利用者との相談回数 (相談日の設定) | 設定なし | 週1回設定 |
| 苦情発生件数(0件) | 1件 | 0件 |

⑤ 機能訓練

利用者の身体状態に応じた負荷のかからない介助方法について多職種への周知・情報共有を図りながら、事故予防などのリスク軽減に努めた。転倒による骨折事故が1件あったが、ポジショニングなどの対応方法を共通認識するため可視化し、皮膚状態悪化を予防できた。体操、レクリエーションにおいては、集団から個別対応に切り替え、利用者本人の意欲・身体機能状態に合わせて実施した。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|----------------------------|-------------|-----------------|
| 転倒による骨折事故(0件) | 2件 | 1件 |
| 体操・レクリエーションの実施 (ひと月10回) | (集団) 8~9回/月 | (個別対応) 15~30件/日 |

⑥ 総務管理

定期的な施設内の設備点検や保守点検の実施、適切な予算管理に努め、物価及び燃料費高騰などもあったが、必要な支出を確保しながら、会議等のペーパーレス化を進めるなどして経常経費の削減に努めた。また、補助金の活用などにより福祉車両2台の整備をすることができた。職員の働き方においては、会議の勤務時間内の開催、時間の短縮など見直しを行うことで時間外勤務の削減ができた。また、次年度に向けて災害時BCP（事業継続計画）作成に着手した。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-------------------------|---------|---------------------------|
| 経常経費の削減（5%減） | — | 事業費・事務費 前年度比 4.4%増 |
| 時間外勤務手当削減（5%減） | — | 前年度比 16.7%減 |
| ワークライフバランスの充実（連続休暇取得促進） | — | 事業所全体で3日連続休暇取得 80%（公休と有給） |

（2）ショートステイ

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|---------------|---------|---------|--------|
| 稼働率 | 74.6% | 78.2% | +3.6% |
| 一日平均利用者数 | 10.4人 | 10.9人 | +0.5人 |
| 平均要介護度 | 2.52 | 2.73 | +0.21 |
| 1人あたり平均利用日数/月 | 9.38日 | 10.2日 | +0.82日 |
| 新規利用者数 | 22人 | 34人 | +12人 |

喀痰吸引や在宅酸素など医療的対応が必要な方、医療機関退院後に直接利用を希望される方も積極的に受け入れをしたことで新規利用者が年間を通じて増えた。併設する特養でコロナウイルスが発生し、ショート利用受入れを一時中止したほか、体調不良及び他施設入所による利用中止もあったが、一人あたりの利用日数は前年度より伸び安定稼働を図ることができた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|--------------------------|---------|---------|
| 利用実人数（10%増） | 33名/月 | 32名/月 |
| レクリエーション・アクティビティ開催数（週4回） | 1回/週 | 1回/週 |

(3) デイサービスセンター

【Ⅰ型（一般型）】

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|--------|---------|---------|-------|
| 稼働率 | 78.2% | 77.2% | -1.0% |
| 延べ利用者数 | 3,543人 | 3,577人 | +34人 |
| 平均要介護度 | 1.81 | 1.99 | +0.18 |
| 新規利用者数 | 11人 | 19人 | +8人 |

【Ⅱ型（認知症対応型）】

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 | 前年度対比 |
|--------|---------|---------|--------|
| 稼働率 | 68.7% | 58.0% | -10.7% |
| 延べ利用者数 | 2,457人 | 2,150人 | -307人 |
| 平均要介護度 | 2.10 | 2.73 | +0.63 |
| 新規利用者数 | 13人 | 12人 | -1人 |

家庭内での新型コロナウイルス発症により利用日数の減や利用控え、身体の状態低下により、デイサービス利用回数を減らしショートステイ利用に切り替える方も増え稼働率は低下した。一方、地域住民に向けた「介護相談会」を定期的で開催したほか、関係居宅事業所との情報共有を図り、特にⅡ型では介護度が重度の方も積極的に受け入れるなど新規利用者の増加に努めた。

| 項目 | 令和3年度実績 | 令和4年度実績 |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 利用実人数（10%増） | I型 38名／月 II型 28名／月 | I型 38名／月 II型 26名／月 |
| レクリエーション・アクティビティ数（30種類） | 20種類 | 18種類 |
| LIFEの活用（月1回） | — | 1回／月 |

※LIFE…介護データ収集・分析システム